

歴博研究映像アンコール上映会

明日に向かて曳け

石川県輪島市皆月山王祭の現在

日 2018
時 10.3 (水) 10:15~12:50
(開場 10:00)

会 熊本大学
場 全学教育棟 E205 教室

【対象】

民俗学概論I受講者
熊本大学文学部希望学生
熊本大学大学院社会文化科学研究科大学院生
一般市民

【お問い合わせ】

096-342-2462 (山下裕作)
h563f@kumamoto-u.ac.jp

【プログラム】

10:25~10:35 映像解説
10:35~12:28 映像上映
「明日に向かって曳け 石川県輪島市山王祭の現在」103分
12:28~12:50 質疑応答

【司会】 山下 裕作 熊本大学大学院人文社会科学研究部 教授

【解説】 川村 清志 国立歴史民俗博物館 准教授

【映像趣旨】 過疎・高齢化が進むなか、地域に暮らす人々、その地域を故郷として都会で暮らす人々は、伝統文化を如何に守り、未来に継承しようとしているのだろうか。石川県輪島市門前町皆月は、能登半島西岸に位置する美しい海浜の村である。かつては皆月湾における漁業の中心地として賑わいを見せていたが、今は古い町並みを残す静かな集落だ。その村に今も暮らす人々、他出しながらも故郷を守りたい人々が、それぞれの暮らしや思いを持ちながら、地域の伝統行事である山王祭を担っていく姿を映像に記録した。地域社会の衰退は、日本国内において一般的な問題になりつつある。地域の伝統を守り、地域の文化を継承しようとする人々の生の姿を通して、我々は問題を共有し、解決のための糸口を探っていきたい。

人間文化研究機構広領域連携型基幹研究「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」・「地域における歴史文化研究拠点の構築」の成果の一部です。

主
催



共
催

